

48

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ①

年 組 番

名前

／13問

知 1 次の問いに答えなさい。

(1) 2011年3月11日に日本で起きた大きな災害を何といいますか。()

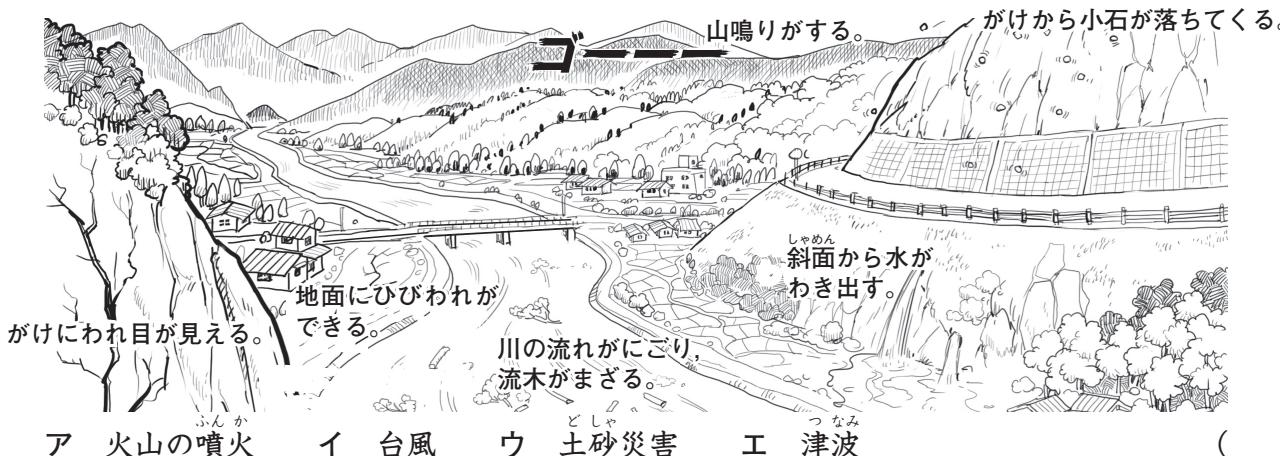
(2) (1)の災害について、次の文の () にあてはまる言葉を答えなさい。

・三陸沖が震源のマグニチュード9の地震が発生し、(①)や(②)の事故などで30万人以上の人々が死んだり、2万人近くがなくなったり、ゆくえ不明になったりした(2015年3月現在)。

(1) () (2) ()

恩 2 次の問いに答えなさい。

(1) 次の絵の様子は、どんな災害が起きる前兆ですか。下のア～エからあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



(ア) 火山の噴火 (イ) 台風 (ウ) 土砂災害 (エ) 津波 ()

(2) 国や都道府県などは、防災のための工事を行っています。次の①～④は、どのような災害による被害を防ぐための工事ですか。下の_____からあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

① ひなん用のタワーをつくる。 () ② 砂防ダムをつくる。 ()

③ 地下に放水路をつくる。 () ④ 山の斜面をコンクリートでおおう。 ()

(ア) 大雨 (イ) がけくずれ (ウ) 津波 (エ) 土石流

恩 3 次の問いに答えなさい。

(1) 市町村では、災害に備えてハザードマップをつくって住民に知らせています。このハザードマップから、どんなことを知ることができますか。2つ答えなさい。

() ()

(2) 災害に備えて、わたしたちがしておくべきことは何ですか。次の①～③について答えなさい。

① ひなん場所やひなん経路 ()

② 非常持ち出し袋(中に入れておく物) ()

③ そのほかに決めておくこと ()

48

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ①

年 組 番

名前

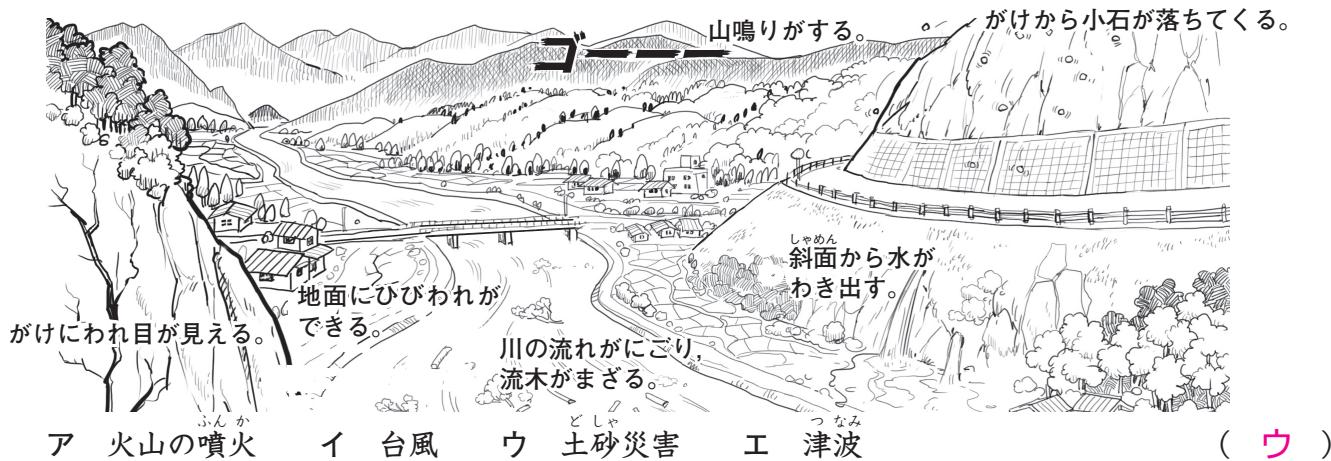
／13問

知 1 次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 2011年3月11日に日本で起きた大きな災害を何といいますか。(東日本大震災)
- (2) (1)の災害について、次の文の () にあてはまる言葉を答えなさい。
・三陸沖が震源のマグニチュード9の地震が発生し、(①)や(②)の事故などで30万人以上の人々が死んだり、2万人近く人がなくなったり、ゆくえ不明になったりした(2015年3月現在)。
- ①(津波) ②(原子力発電所)

恩 2 次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 次の絵の様子は、どんな災害が起きる前兆ですか。下のア～エからあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



- (2) 国や都道府県などは、防災のための工事を行っています。次の①～④は、どのような災害による被害を防ぐための工事ですか。下の_____からあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

- ① ひなん用のタワーをつくる。 (ウ) ② 砂防ダムをつくる。 (エ)
③ 地下に放水路をつくる。 (ア) ④ 山の斜面をコンクリートでおおう。 (イ)

ア 大雨 イ がけくずれ ウ 津波 エ 土石流

とき方のコツ 土石流が起きやすいところには、砂防ダムがつくられています。

恩 3 次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 市町村では、災害に備えてハザードマップをつくって住民に知らせています。このハザードマップから、どんなことを知ることができますか。2つ答えなさい。

※順不同 (災害が起きそうな場所) (ひなん場所)

- (2) 災害に備えて、わたしたちがしておくべきことは何ですか。次の①～③について答えなさい。

- ① ひなん場所やひなん経路
(例) ひなん場所を決めておく。 (例) ひなん経路を確かめておく。
② 非常持ち出しぶくろ(中に入れておく物)
(例) ラジオ、かいちゅう電灯、電池、水、非常食、薬、タオルなど
③ そのほかに決めておくこと (例) 家族との連絡の取り方。

49

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ②

年 組 番

名前

/ 9問

知 意 1 右の地図を見て、次の問い合わせに答えなさい。

知 (1) 右の地図は、地球の表面をおおう岩ばんの名前を記しています。これらの岩ばんのことで、()に入ることばを何といいますか。

()

知 (2) (1)の岩ばんがずれて起こる災害にはどのようなものがありますか。2つ答えなさい。

()

()

恩 (3) (2)の災害が起こる順番をかんたんに説明しなさい。

()

恩 (4) (3)のような災害が起こった場合、海岸やその近くにいる人たちがただちにしないといけないことをかんたんに説明しなさい。

()

知 2 次の問い合わせに答えなさい。

(1) 右の絵は、冬に起こった災害の様子をえがいたものです。この災害の原因を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。 ()

ア 大雨 イ 大雪 ウ 台風

(2) (1)の災害の原因となるものは、あたたかくなると、ほかの災害を起こすこともあります。それに備えてさくを設ける地域もあります。この災害を何といいますか。

()



知 3 次の問い合わせに答えなさい。

(1) 現在も噴火などの活動をしている火山のことをまとめて何といいますか。

()

(2) 河川防災ステーションは、どのような災害の備えとしてつくられていますか。次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

()

ア こう水 イ 大雪 ウ 噴火

49

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ②

年 組 番

名前

/ 9問

知 意 1 右の地図を見て、次の問い合わせに答えなさい。

知 (1) 右の地図は、地球の表面をおおう岩ばんの名前を記しています。これらの岩ばんのことで、()に入ることばを何といいますか。

(プレート)

知 (2) (1)の岩ばんがずれて起こる災害にはどのようなものがありますか。2つ答えなさい。

(地震)
※順不同 (津波)

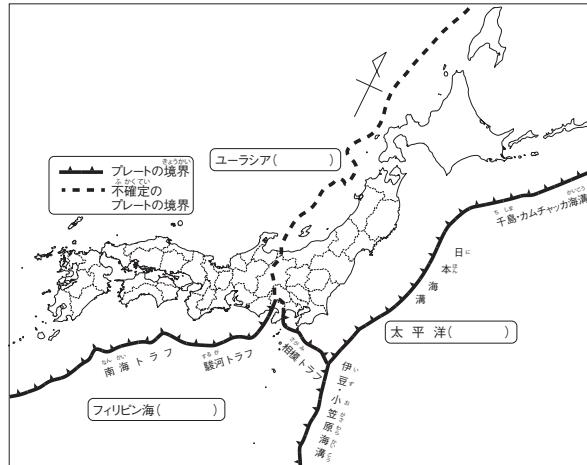
恩 (3) (2)の災害が起こる順番をかんたんに説明しなさい。

((例) 地震のあとに津波が発生する。)

恩 (4) (3)のような災害が起こった場合、海岸やその近くにいる人たちがただちにしないといけないことをかんたんに説明しなさい。

((例) 海岸からはなれ、なるべく高いところへひなんする。)

ポイント 大きな津波に備え、各地に津波ひなんタワーが建てられています。



知 2 次の問い合わせに答えなさい。

(1) 右の絵は、冬に起こった災害の様子をえがいたものです。この災害の原因を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。 (イ)

ア 大雨 イ 大雪 ウ 台風

(2) (1)の災害の原因となるものは、あたたかくなると、ほかの災害を起こすこともあります。それに備えてさくを設ける地域もあります。この災害を何といいますか。

ポイント 雪による災害は、日本海側の (なだれ) 地域で多く見られます。



知 3 次の問い合わせに答えなさい。

(1) 現在も噴火などの活動をしている火山のことをまとめて何といいますか。

(活火山)

(2) 河川防災ステーションは、どのような災害の備えとしてつくられていますか。次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

(ア)

ア こう水 イ 大雪 ウ 噴火

ポイント こう水などの水害は、土地の低い地域でよく起こります。

14

わたしたちの生活と環境
さいがい ふせ
自然災害を防ぐ

名前

年 組 番

知識・技能 / 7問

/ 100点

思考・判断・表現 / 1問



(1)各10点、(2)(1)15点、(2)10点、(3)は20点、(4)は15点

知 1 次の問いに答えなさい。

図 I 断層が動く様子

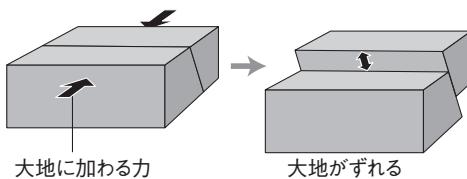
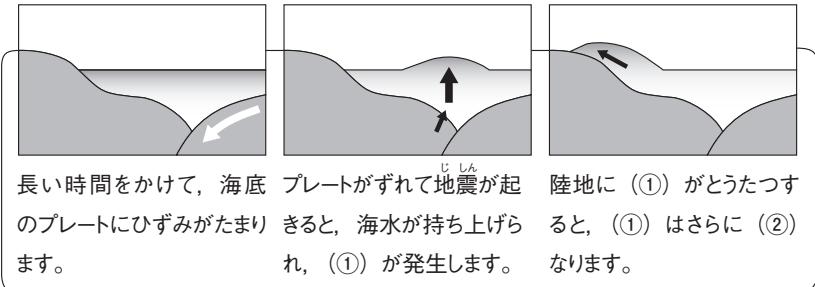


図 II



(1) 上の図 I・IIは、同じ災害が起きるしくみを示したものです。その災害は何ですか。

()

(2) 図 IIの()にあてはまるこたばを答えなさい。

① () ② ()

(3) 1854年、図 IIのような災害が起こったとき、濱口梧陵という人物が被害を減らすために行なったことを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 稲の実がついたわらたばに火をつけ、村人のひなん路を示した。

イ 紀伊山地の山おくに、大きな砂防ダムを建設した。

ウ 建物に鉄筋を使って、強度を高める工事をした。

()

知 意 2 次の問いに答えなさい。

知 (1) ハザードマップとはどのようなものですか、「被害」というこたばを用いて、かんたんに説明しなさい。

()

知 (2) 強いゆれが予想される災害が発生したときに行なわれることを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 放水路を使って、取りこんだ水を川に排水する。

イ テレビやラジオ、スマートフォンなどで情報を伝える。

ウ とう結しないよう、道路に水をまく。

()

意 (3) つゆや台風がくると、こう水や土砂災害が起こることがあります。なぜこれらの災害が起こるのでしょうか、「短期間」というこたばを用いて、かんたんに説明しなさい。

()

知 (4) 気象庁は、活動を観測する山を指定しています。これは何に備えて行っているのでしょうか。かんたんに説明しなさい。

()

14

わたしたちの生活と環境
さいがい
ふせ
自然災害を防ぐ

名前

年 組 番

/100点

知識・技能 /7問

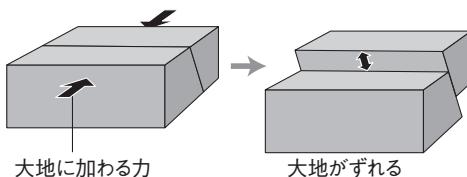
思考・判断・表現 /1問



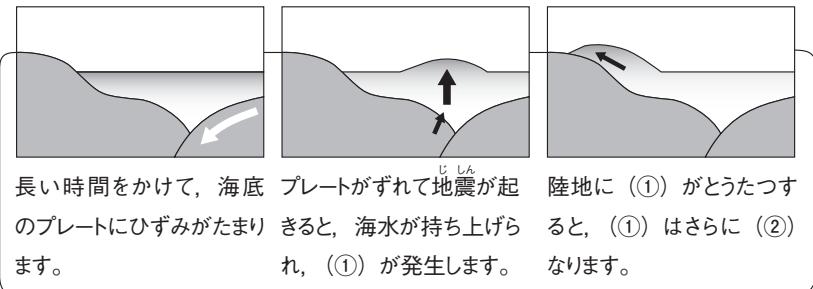
(1)各10点、(2)(1)15点、(2)10点、(3)は20点、(4)は15点

知 1 次の問いに答えなさい。

図Ⅰ 断層が動く様子



図Ⅱ



(1) 上の図Ⅰ・Ⅱは、同じ災害が起きるしくみを示したものです。その災害は何ですか。

(地震)

(2) 図Ⅱの()にあてはまるこばを答えなさい。

① (**津波**) ② (**高く**)

(3) 1854年、図Ⅱのような災害が起こったとき、濱口梧陵という人物が被害を減らすために行なったことを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 稲の実がついたわらたばに火をつけ、村人のひなん路を示した。
 イ 紀伊山地の山おくに、大きな砂防ダムを建設した。
 ウ 建物に鉄筋を使って、強度を高める工事をした。
- ポイント** 1995年の阪神・淡路大震災は図Ⅱのよ
 うなしきみで起きた地震です。 (ア)

知 意 2 次の問いに答えなさい。

知 (1) ハザードマップとはどのようなものですか、「被害」というこばを用いて、かんたんに説明しなさい。

((例) 自然災害による被害が予想されるはんいなどをあらわした地図。)

知 (2) 強いゆれが予想される災害が発生したときに行なわれることを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 放水路を使って、取りこんだ水を川に排水する。
 イ テレビやラジオ、スマートフォンなどで情報を伝える。
 ウ とう結しないよう、道路に水をまく。 (イ)

意 (3) つゆや台風がくると、こう水や土砂災害が起こることがあります。なぜこれらの災害が起こるのでしょうか、「短期間」というこばを用いて、かんたんに説明しなさい。

((例) 短期間に雨が多くふり、川があふれたり、土砂が流れてきたりするから。)

知 (4) 気象庁は、活動を観測する山を指定しています。これは何に備えて行なっているのでしょうか。かんたんに説明しなさい。

ポイント 気象庁は、火山活動の観測だけでなく、緊急地震速報を出す仕事をしています。

((例) 火山の噴火)

14

わたしたちの生活と環境
自然災害を防ぐ

年 組 番

名前

／11問

知

●重要図のポイント● () にあてはまる言葉を答えなさい。

1995年(平成7年)に

() が発生

豪雪による雪害

2011年(平成23年)に

() が発生



知 ●要点のまとめ● 次の文中の()にあてはまる言葉を、下の[]から選んで答えなさい。

■日本の自然災害

日本では、地震や津波のほか、大雨による水害、火山の噴火などの自然災害が起こる。これらの自然災害には、国土の地形、気候がかかわっている。自然災害に対し、国や都道府県が()の取り組みをしている。

■地震災害への取り組み

日本は、位置が複数のプレートが出会うところにあるほか、内陸部では()が多いことから、地震が発生しやすい。地震に対しては、発生する直前に()で情報を伝えるほか、建物の耐震工事が行われる。国は、中央防災会議や災害対策本部を設置し、対策を話し合う。

■津波災害への取り組み

大きな地震が起きた後、プレートが反発して海水が大きく動き、津波が発生する。特に東日本大震災では、東北地方や関東地方の()岸に大きな被害が出た。津波に対しては、()や津波ひなんタワーが建設されるほか、独自の防災訓練を行う県もある。また、津波警報も出される。

■風水害への取り組み

日本には、つゆや台風があり、短時間に大雨がふると、こう水や土砂災害が起こることがある。川の水や土砂が大量に流れ出すのを防ぐ()、地下に水を取りこんで排水する放水路などが建設されている。

[緊急地震速報]

[砂防ダム]

[太平洋]

[防災]

[断層]

[防潮堤]

知 ●要点のまとめ● 次の文中の()にあてはまることばを、下の[]から選んで答えなさい。

■ハザードマップ 自然災害による被害が予想されるはんいなどをまとめた()のことで、ひなん場所やひなん経路も示される。災害時のひなんの参考にするだけでなく、災害が起きる前の備えにも活用し、自然災害を減らすことにつなげられる。

■火山の噴火への取り組み 日本には活動している火山が多く、()が活火山の観測をするほか、噴火の前ぶれがあれば警報を出している。

■大雪への取り組み 冬の大雪による災害に備え、道路のとう結や()の防止さくを設ける地域もある。

[なだれ 気象庁 地図]

14

わたしたちの生活と環境
自然災害を防ぐ

年 組 番

名前

／11問

知

●重要図のポイント● () にあてはまる言葉を答えなさい。



知 ●要点のまとめ● 次の文中の()にあてはまる言葉を、下の[]から選んで答えなさい。

■日本の自然災害

日本では、地震や津波のほか、大雨による水害、火山の噴火などの自然災害が起こる。これらの自然災害には、国土の地形、気候がかかわっている。自然災害に対し、国や都道府県が(防災)の取り組みをしている。

■地震災害への取り組み

日本は、位置が複数のプレートが出会うところにあるほか、内陸部では(断層)が多いことから、地震が発生しやすい。地震に対しては、発生する直前に(緊急地震速報)で情報を伝えるほか、建物の耐震工事が行われる。国は、中央防災会議や災害対策本部を設置し、対策を話し合う。

■津波災害への取り組み

大きな地震が起きた後、プレートが反発して海水が大きく動き、津波が発生する。特に東日本大震災では、東北地方や関東地方の(太平洋)岸に大きな被害が出た。津波に対しては、(防潮堤)や津波ひなたワーが建設されるほか、独自の防災訓練を行う県もある。また、津波警報も出される。

■風水害への取り組み

日本には、つゆや台風があり、短時間に大雨がふると、こう水や土砂災害が起こることがある。川の水や土砂が大量に流れ出すのを防ぐ(砂防ダム)、地下に水を取りこんで排水する放水路などが建設されている。

[緊急地震速報 砂防ダム 太平洋 防災 断層 防潮堤]

知 ●要点のまとめ● 次の文中の()にあてはまることばを、下の[]から選んで答えなさい。

■ハザードマップ 自然災害による被害が予想されるはんいなどをまとめた(地図) のことで、ひなん場所やひなん経路も示される。災害時のひなんの参考にするだけでなく、災害が起きる前の備えにも活用し、自然災害を減らすことにつなげられる。

■火山の噴火への取り組み 日本には活動している火山が多く、(気象庁) が活火山の観測をするほか、噴火の前ぶれがあれば警報を出している。

■大雪への取り組み 冬の大雪による災害に備え、道路のとう結や(なだれ) の防止さくを設ける地域もある。

[なだれ 気象庁 地図]

14

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ

年 組 番

名前

/ 12問

知 意 1 次の問いに答えなさい。

知 (1) 気象庁が緊急地震速報を伝える手段として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア テレビ イ 新聞 ウ ざっし エ A |

()

恩 (2) 自然災害に関する次の文のうち、正しいものには○、まちがっているものには×を、それぞれ選んで答えなさい。

() 長野県・岐阜県の御嶽山では、噴火が起こり、大きな被害が出たことがある。

() 津波記念碑には、「ここより上に家を建てるな」ときざまれている。

() 山鳴りや地面のひびわれは、雪害の前ぶれとされている。

() 国は、自治体の代わりにハザードマップをつくり、住民に配っている。

知 意 2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

知 (1) 1854年、濱口梧陵が災害の危険に気づいて村人をひなんさせ、その被害を減らしたところはどこですか。地図のア～ウから1つ選び、記号を答えなさい。 ()

恩 (2) 災害の備えとして防潮堤を建設している県を、地図のa～cから1つ選び、記号で答えなさい。また、その県の名前も答えなさい。

記号 () 県名 ()

恩 (3) (1)と(2)は、同じ災害に関係があります。その災害は、どのようにして発生するのか、「プレート」ということばを用いて、かんたんに説明しなさい。

()



恩 (4) 右のグラフは、地図中の新潟県上越市の気温と降水量を示しています。このグラフを参考にして、冬から春にかけて起こる災害を防ぐためにどのような対策が必要か、かんたんに説明しなさい。

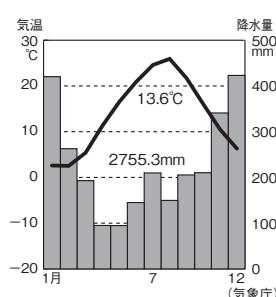
()

恩 (5) 地図の矢木沢ダムの上流には砂防ダムがいくつもつくられている。この理由を、「上流」ということばを用いて、かんたんに説明しなさい。

()

恩 (6) 地図の春日部市には、地下に放水路がつくられていますが、どのような目的でつくられていますか。かんたんに説明しなさい。

()



14

わたしたちの生活と環境

かんきょう

さいがい

ふせ

自然災害を防ぐ

年 組 番

名前

/ 12問

知 恩 1 次の問いに答えなさい。

知 (1) 気象庁が緊急地震速報を伝える手段として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア テレビ イ 新聞 ウ ざっし エ A |

(ア)

恩 (2) 自然災害に関する次の文のうち、正しいものには○、まちがっているものには×を、それぞれ選んで答えなさい。

(○) 長野県・岐阜県の御嶽山では、噴火が起こり、大きな被害が出たことがある。

(×) 津波記念碑には、「ここより上に家を建てるな」ときざまれている。

(×) 山鳴りや地面のひびわれは、雪害の前ぶれとされている。

(×) 国は、自治体の代わりにハザードマップをつくり、住民に配っている。

知 恩 2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。 ポイント 御嶽山のほか、東京都の三宅島、長崎県の雲仙普賢岳でも、火山の噴火による被害が出たことがあります。

知 (1) 1854年、濱口梧陵が災害の危険に気づいて村人をひなんさせ、その被害を減らしたところはどこですか。地図のア～ウから1つ選び、記号を答えなさい。 (ウ)

恩 (2) 災害の備えとして防潮堤を建設している県を、地図のa～cから1つ選び、記号で答えなさい。また、その県の名前も答えなさい。

記号 (C) 県名 (岩手県)

恩 (3) (1)と(2)は、同じ災害に関係があります。その災害は、どのようにして発生するのか、「プレート」ということばを用いて、かんたんに説明しなさい。

(例) 大きな地震が起きた後、プレートの反発によって海水が大きく動くことで発生する。)

恩 (4) 右のグラフは、地図中の新潟県上越市の気温と降水量を示しています。このグラフを参考にして、冬から春にかけて起こる災害を防ぐためにどのような対策が必要か、かんたんに説明しなさい。

(例) 道路のとう結やなだれの発生を防ぐ対策。)

恩 (5) 地図の矢木沢ダムの上流には砂防ダムがいくつもつくられている。この理由を、「上流」ということばを用いて、かんたんに説明しなさい。

(例) 山や川の上流の砂が大量に流れ出すことを防ぐため。)

恩 (6) 地図の春日部市には、地下に放水路がつくられていますが、どのような目的でつくられていますか。かんたんに説明しなさい。 ポイント グラフから、冬に降水量が多いことに注目し、大雪に対する備えが必要なことを説明しましょう。

(例) こう水になったときに水を取りこみ、川に排水するため。)

